美術・特別支援教育・ICT 出会えたすべてに感謝

釘貫（くぎぬき） ひとみ

浪速短期大学デザイン美術科 平成５年３月卒業／大阪芸術大学美術学科 平成21年３月卒業／大阪芸術大学通信教育部科目等履修課程 令和５年９月修了

短大卒業後、教育関連の印刷会社へ入社。DTP、デザイン、イラストを担当。美術教員を目指し13年目に退職。大阪芸術大学に編入学し卒業。採用試験合格後、現在２校目となる、大阪府初の職業学科を設置の高等部単独の支援学校である大阪府立たまがわ高等支援学校に勤務。クラス担任と美術科を担当。2023年学芸員資格取得。
受賞歴：ICT夢コンテスト優良賞（2023）／三田市美術展入選
グループ展：『嶋本昭三とゆかいな仲間たち』八尾西武百貨店１F

大阪府立たまがわ高等支援学校

ICT夢コンテスト受賞者一覧および事例発表

18歳、美術の勉強を楽しむ日々。34歳、会社を辞め教員免許を目指し編入学。50歳には学芸員資格を目指し、働きながら１年で取得と、私には高卒後、３度の学生時代があります。

浪短時代　写真の授業で友人に撮影してもらいました

大芸では、美術指導と特別支援教育の両方を志すきっかけとなった、花篤（けいとく） 實（みのる） 教授とご縁を感じる出会いがありました。教授の講義初日、「私と同じ苗字の人を知っていますか？」と質問され、私だけが、「仕事で知り合いました。」と答えると、実は教授のご子息であったというご縁から、交流させて頂くようになりました。

卒業後は支援学校で、非常勤講師などで勤務しながら、採用試験を受けていました。

2011年３月11日に東日本大震災が発生。私はメンタルケアの資格を持っていることから、４月に仲間と共に、福島県の避難所で、津波被害に遭われた方々にボランティアで心のケアを行う活動をしました。帰阪後、次は美術教員として支援できる事は何かを考え、翌週には同じ避難所へ１人で行き、天然石でブレスレットを作る出張教室を開催しました。「美しい石に触れている一瞬は辛い事を忘れられた」「壊れた家から出ない娘が教室のおかげで家から出られた」と喜んで頂いたことで、「美術で特別支援教育がしたい」との思いを強くし一念発起、不合格続きだった試験の勉強にも一層力が入り、2011年に39歳で念願の合格を果たしました。花篤（けいとく） 實（みのる） 教授との出会いと出張教室での体験が、今の私の原点です。

ボランティアのようす
2011年４月24日付の北國新聞朝刊にも掲載されました

ICT夢コンテスト2023

事例発表のようす

デザイン採用

校章
（大阪府立東淀川支援学校）

授業例

色相環を使わない色の学習とポスター作成例

着色イメージをデジタル制作し、実物のだるまに着色

授業は会社員時代のスキルをいかしてデジタルICTを取り入れ、毎年新しい授業を考案しています。昨年初めて色覚の多様性に配慮した色相環を使わない色彩学習の実践を「ICT夢コンテスト2023」に応募したところ、優良賞を頂きました。今年は美術館と生徒をICTで繋ぐ授業を考案し実施しました。

デザイン・イラストの仕事に就き、教員免許と学芸員資格を取得し、私の夢とチャレンジの可能性は大きく広がりました。支えてくださった大阪芸術大学に感謝申し上げます。

花篤實教授
【大阪芸術大学教授／大阪教育大学名誉教授】
と2017年に撮影

私の合格をお手紙で「快挙！」と喜んで下さいました。お手紙は宝物です！

推薦者／校友会事務局　松本 晴名